

発行元 〒020-0541 雫石町千刈田 82-2
 雫石町総合福祉センター内
 雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター
 ☎ 692-2230/FAX 691-1140
 e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp
 http://www.shisha.or.jp

2015年
 1月22日発行
 58号

ぼらっと

★ぼらっとーキング★

このコーナーでは、町内でボランティアとして活躍している、グループ、NPO、企業、学校の皆さんの声をお届けします。

第5回目は、スノーバスターズで活動する川村貢さん(スノーバスターズ会長・写真前列左)、古郡恒さん(雫石町役場復興整備課・前列右)、写真後列左から雫石中学校2年石田雄人さん、大和波瑠さん、鈴木悠斗さん、櫻田空河さん、吉田俊吾さんの7名にお話を伺いました。

①みなさん、第一回目のスノーバスターズお疲れさまでした。今季初出勤となりましたが、いかがでしたか？

会長…今日は思ったより風もなく、行き帰りの運転は大変楽に出来ました。今回はご近所さんがトラクター等で除雪をしていていた所もあったため、安否確認が主となり、訪問先の方々といろいろとお話をしてきました。最初の活動としては、大変良かったと思います。

古郡…12月の雪の状況を見ていて結構大変かなと思っていましたが、年も明けて雪が溶けてきていました。活動をして、やっぱり一番嬉しかったのは、ありがとうございますともらえたことです。あとは中学生の参加率に驚きました。十何年前の自分だったら絶対参加してないだろうし、若い子たちが継続して参加できるボランティア活動は続けていくべきですよ。

②では今度はそんな学生さんにお話を伺います。

吉田…去年も参加しました。去年より雪が少なかったけれど、出来ることを探して精一杯やりました。

櫻田…初めての参加だったけれど、地域の方が優しくしてくれて、いい経験になりました。

鈴木…去年と比べて雪が少なかったけれど、自分なりに雪かきをして、ありがとうございますと言われたのが嬉しかったです。

大和…雪は少なかったけど、人数も少なかったです。でも指示されたところを一生懸命出来ました。

石田…お年寄りたくさんお話出来たのが楽しかったです。いい活動だと思うので、これからも参加したいです。

③会長はこうして若い方がたくさん参加してくれることについてどう思いますか？

会長…大変嬉しいことですよ。向う方からも、若い子たちと話が出来るのが嬉しいと言われますから。

④次は参加したきっかけについて伺います。

吉田…学校でボランティアの

募集があれば、積極的に参加するようにしています。

櫻田…友だちに誘われて参加を決めました。

鈴木…地域の役に立ちたいと思って参加しました。

大和…自分で雪かき出来ない人のためになりたいので参加しました。

石田…人のためになりたいと思って参加しました。

古郡…きっかけは何でもいいと思います。地域の人と触れ合うことが、地域コミュニティを作る上で大切なので、こういう活動にどんどん参加して欲しいですね。

⑤中学生のボランティアへの意欲に驚かされました！バスターズはまだまだ続きます。宜しくお願いします！



VOORATTTO

お知らせ掲示板

雫石町スノーバスターズ隊員募集!!

スノーバスターズの活動は、町内に住む高齢者や障がいを持った方々の家庭を訪問し、玄関先の雪払いや声掛けをするものです。高齢者にとって冬の除雪は大変な作業です。そんな時、気軽に手伝っていただけるとありがたいものです。みなさんの時間を地域のために活かしてみませんか?

活動期間 平成27年1月10日~2月28日
までの毎週土曜日。13時~15時。

※ ただし、2月21日は雫石町社会福祉大会のため、活動はお休みです。

隊員資格 体力に自信のある方。ボランティアに興味がある方。

※ 事前に隊員登録が必要になります。下記の間合せ連絡先までご連絡下さい。

万が一の事故に備えて

安心して活動できるよう、参加者全員ボランティア活動保険に加入してからの活動になります。(福祉センターで全額負担します。)

問い合わせ 019-692-2230 (武田・澤口)



今回は、「船の会」で活躍している高橋 征子さんにお話を伺いました。
(以下、質問: Q
回答: A)。

「ボランティア活動について知りたいけれど...」、「どんなボランティアがあるの?」など、ボランティア活動に関する疑問を持っている方もいるのでは?このコーナーでは、そんな疑問をお持ちの方のために、毎号掲載します。



教えて!ボランティア VOL.5

しつもん?

Q すでにあるボランティア団体に参加するのではなく、新たな活動を立ち上げたいのですが...

A はい、協力させていただきます。新たな団体を作って活動したいという方もいるはず。特技や専門性を活かしたいという方もいれば、地域の課題に気づいて活動の立ち上げを考える方もいます。私達は、そうした「何かしたい」、「何とかしたい」という気持ちを応援したいと思っています。団体の立ち上げ、運営にあたっては、あらかじめ知っておくとよい情報がありますので、活動の立ち上げをお考えの方は、まず、ボランティア活動センターに尋ねられることをおすすめします。

Q1 ボランティア活動をするきっかけは何でしたか?

A1 若夫婦に仕事を譲って、好きな踊りを活かして、一人暮らしの老人昼食会や老人ホームを回ったのが、きっかけです。以前から、やりたいと思っていたことです。

Q3 最後に、ボランティアを始めようとしている人に一言。

A3 難しいことではないですよ。他人に立ち入り過ぎてはいけなく、無理強いはいけなく、人と心を通わせることが大事です。何より、待っていて貰えることが嬉しいです。

Q2 ボランティア活動をしていて、やりがいを感じる時はどんな時ですか?

A2 高齢者の方は、一緒に行った子ども達を見て涙してくれるんです。人に感動を与える時、喜んでくれる時にやりがいを感じます。一人暮らしの老人昼食会では、一緒にお風呂に入って高齢者の方々の背中を流すんですけど、そういう方々は機会がないんです。そういう思いを感じながら、喜んでもらえるとうれしいですね。汗を沢山かきますけど(笑)

ありがとうございました。



年頭のご挨拶

年末前から雪が降り積もり、寒さが続いておりますが、皆様、お元気でお過ごしでしょうか。新年を迎え早くも1ヶ月を過ぎようとしています。

さて、去年はボランティア情報紙「ぼらっと」もリニューアルされ、たくさんのボランティアの方々とお交流させていただき改めて「人と人との繋がり」

を実感した年となりました。本年も、その気持ちを忘れずに、皆様の協力をいただきながら、より役立つ情報の発信を心がけ、ボランティアの方々の活動の様子も紹介していきたいと考えております。雫石町ボランティア活動センターでは、更にボランティア活動に地域の皆様が力を注げるよう努力して参ります。

